

## 胃がん リスク検査

胃がんリスク検査とは：胃がんのリスク因子とされるピロリ菌の検査と、胃粘膜の萎縮度を調べるペプシノゲン検査を組み合わせ、胃がんになるリスクを「A群」・「B群」・「C群」・「D群」の4つに分類する検査です。

対象者：以下の①から⑧のすべてに該当する方

- ① 名古屋市内に居住地を有する40歳以上59歳以下の方（年度末時点での年齢）
- ② ピロリ菌の除菌治療を受けたことがない方
- ③ 上部消化器（食道・胃・十二指腸）について自覚症状がない方、消化性潰瘍又は逆流性食道炎で治療中ではない方
- ④ 胃酸分泌抑制薬（主にプロトンポンプ阻害薬）を検査前2か月以内に服用していない方
- ⑤ 胃を切除する手術を受けていない方
- ⑥ 腎機能障害（目安：クレアチニン値が3mg/dl以上）ではない方
- ⑦ 免疫機能低下、ステロイド投与、免疫抑制剤投与していない方
- ⑧ 過去に名古屋市が実施する胃がんリスク検査を受診していない方

受診間隔：1人1回まで 自己負担金：500円

ただし、別紙参照の方は自己負担金が免除されます。

検診方法： 問診及び採血によるピロリ菌抗体検査（血清）、ペプシノゲン検査（血清）ピロリ菌抗体検査及びペプシノゲン検査は、現在胃がんかどうかを調べる検査ではありません。

ピロリ菌検査は血液中の抗体の量を測定し、ピロリ菌感染の有無を

調べるものであり、ペプシノゲン検査は胃粘膜から分泌されるペプシノゲンという物質を調べ、胃の炎症や萎縮度を調べるものです。

診療時間内に電話で予約際には必ず「名古屋市の胃がんリスク検査を希望」と

お伝えください。

検診当日は、住所と生年月日がわかるもの（健康保険証や運転免許証等）を持参してお越しくください。

精密検査：胃がんリスク検査でB群・C群・D群となられた方には、

精密検査が必要にて連携先医療機関にご紹介します。

精密検査では、胃がん等の疾患がないか確認するため、内視鏡検査を行います。

精密検査で現在ピロリ菌に感染していることが確定した場合は、除菌について  
ご相談ください。

精密検査及び除菌治療は原則保険診療となりますので、医療費の自己負担分が  
かかります。